

株式会社 アネシスホールディングス

実際にテレワークをやってみると
意外と簡単でした

設立：1994年

所在地：熊本市東区

事業内容：木造家屋建築工事

従業員数：176名（男80名、女96名）

令和2年11月現在



1. テレワーク導入目的

新型コロナウイルス感染拡大リスクの軽減、及び、お客様・関係者の皆様・社員の安全確保のため、在宅勤務（テレワーク）を導入。

2. 導入にあたっての課題や不安をどう克服したか

課題や不安	克服方法
<p>○ テレワーク環境の構築 セキュリティの問題</p> 	<p>コロナ前よりクラウド型のシステムを導入済。 また、ノートパソコン及びスマートフォンは会社から支給済であった為、環境の構築は比較的容易に実現できた。自宅にインターネット環境がない社員に対しては、ポケットWi-Fiを貸し出し、会社から支給したスマートフォンからのデザリング（*1）にて対応。セキュリティに関する問題は会社から支給したノートパソコンからVPN接続（*2）にてアクセスを実施することで解決した。</p>
<p>○ テレワークの規定</p>	<p>テレワーク規定を作成、整備し導入。 また、情報セキュリティ規定の強化及び意識向上も同時に実施。</p>
<p>○ 勤怠管理 評価制度</p>	<p>PC上から出退勤時刻を報告可能なシステムを導入。また、これまでより密に上司と連絡を取り合うこと、及び、定期的な報告、成果物の提出というジョブ型の評価制度も取り入れた。</p>

*1 デザリング・Wi-Fi対応のパソコンなどからスマートフォン・タブレットをWi-Fiルーター（親機）としてインターネット接続できる通信機能

*2 VPN接続・インターネット上に仮想の専用線を設定し、特定の人のみが利用できる専用ネットワーク

3. 実際にテレワークを行ってからの問題及びそれをどう克服したか

課題・不安及び手続きなど	克服方法
○コミュニケーション	Google Chat、Meet、ZOOM 等を用いて密にコミュニケーションを取ることとした。頻繁に連絡を取り合うことで円滑なコミュニケーションを図ることが可能となった。
○各種書類の押印	社内ワークフローシステムを導入。紙面にて申請し押印するスタイルから、ワークフローシステムを用いた電子申請・電子承認へと変更した。
○時間外労働	時間外労働が発生しそうな場合、システム上にて上長へ事前申請を行う運用で解決。
○テレワーク実施期間	当初は緊急事態宣言に伴う期間限定導入。しかし、問題なく運用可能。また、生産性向上が認められる業務内容も確認できた為、継続して実施中。
○営業職の運用	モデルルームや住宅展示場を所持しており、これをサテライトオフィス化して対応。また、チーム分けも行い、社員がコロナ罹患時も影響が限定的になる施策を実施。
○ストレスケア	テレワーク関連のアンケート・ストレスチェックを複数回にわたり実施。社員の心的状況や環境を確認し、ケアが必要な社員に対しては個別に対応を実施。

4. テレワークの形態

<対象者> 全社員

<作業場所> 自宅

<頻度> 下記パターンを設定

- ・全てテレワーク
- ・週3～4日実施
- ・月5回程度

<形態> 社員をチーム分けし、出勤日が重ならないようテレワークと出社を交代で実施。



5. 実施後のメリット

- ・移動時間に充てられていた時間も有効活用できるようになった。
- ・WEB会議が当たり前となり、これまでより多くの社員同士がコミュニケーションをとることが可能となった。
- ・ITシステムの導入・運用を状況にあわせてスムーズに行うことができ効率化が図れた。